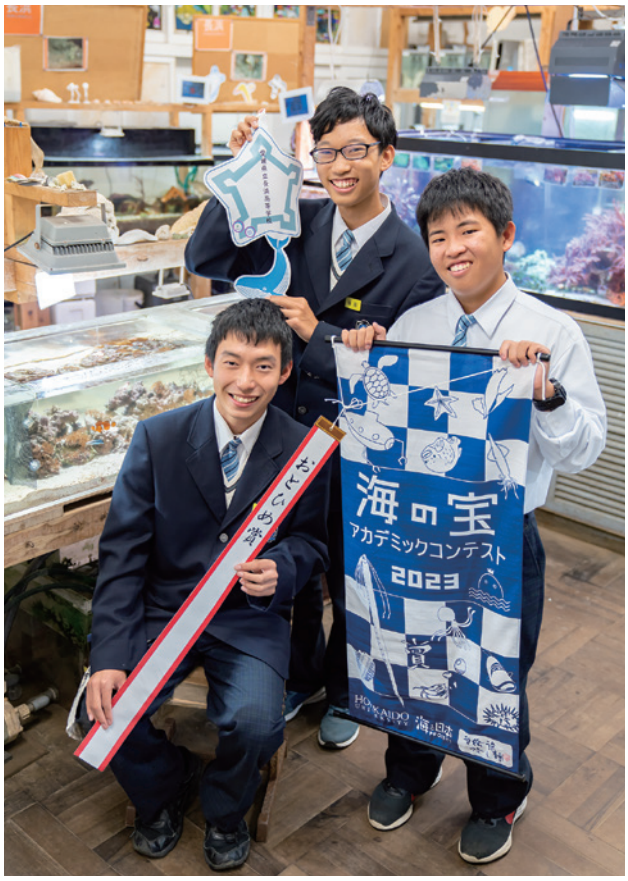
広報うちこ
UCHIKO
2023 December vol.314
12

住人十色

第169回

海の魅力を伝えるプレゼンテーション
人と魚との「絆」でつかんだ全国2位

大西　寅ノ介（とらのすけ）さん（長浜高等学校1年）＝内子4＝



◎たくさんの水槽が並ぶ校内で受賞を喜ぶメンバー３人。左から大西さん、研究熱心な後藤一樹（いつき）さん、ムードメーカーの中西煌星（こうせい）さん

中高生が海の魅力を発表する「海の宝アカデミックコンテスト２０２３全国大会」が11月４日に開かれ、長浜高等学校水族館部がマリン・カルチャー部門で第２位となる「おとひめ賞」を受賞しました。

発表テーマは「人心あれば魚心」。同級生３人のチームで班長を務めた大西寅ノ介さんは「ことわざの『魚心あれば水心』にちなんで、人と魚も寄り添い続ければ心は通うという思いを込めた」と説明します。同校には全国初の校内水族館があり、部員たちが生き物の世話や一般公開などの管理・運営を担当します。「魚との距離が近い僕たちの活動から、人と魚との絆が伝われば、海を大切にすることにもつながる」と大西さん。発表では、前例が少ないイシダイショーでの苦労や、サザナミフグが心を開いて近寄ってきた話などを紹介。会場の反響は大きく「緊張したけれど、やり切った」と胸を張ります。

大西さんは幼い頃からの魚好き。「小学生の時に買ってもらった、魚の漢字が書かれた下敷きが宝物。使い込んでぼろぼろなので、同じものを買い直した」と笑います。最後に「魚への興味は尽きない。これからももっと研究して、将来は水産養殖研究センターで完全養殖に挑戦するのが夢」と目を輝かせました。

編集幸記

▽時がたつのは早いもので、もう12月。広報係になってから特に「時空がゆがんでるよね」と担当者同士で言い合うほど一瞬で月日が流れます。寒いのは苦手なので、どうせなら一瞬で春が来てくれたらいいのに。ドラえもん、何か出してよ（史）

▽いのちの授業を取材しました。赤ちゃんたちのかわいさに耐えられず、にやけまくり、写真撮りまくり、バッテリー減りまくり。一枚しか載せられないのが悔しいです。赤ちゃんを見守る中学生の優しい表情にも注目！（花）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120（44）2130

発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893（44）2111（代）／FAX（44）4300
https://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp

内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893（44）2112（代）／FAX（44）6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892（52）3111（代）／FAX（52）2303

編集：広報うちこ編集委員会

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。
きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK